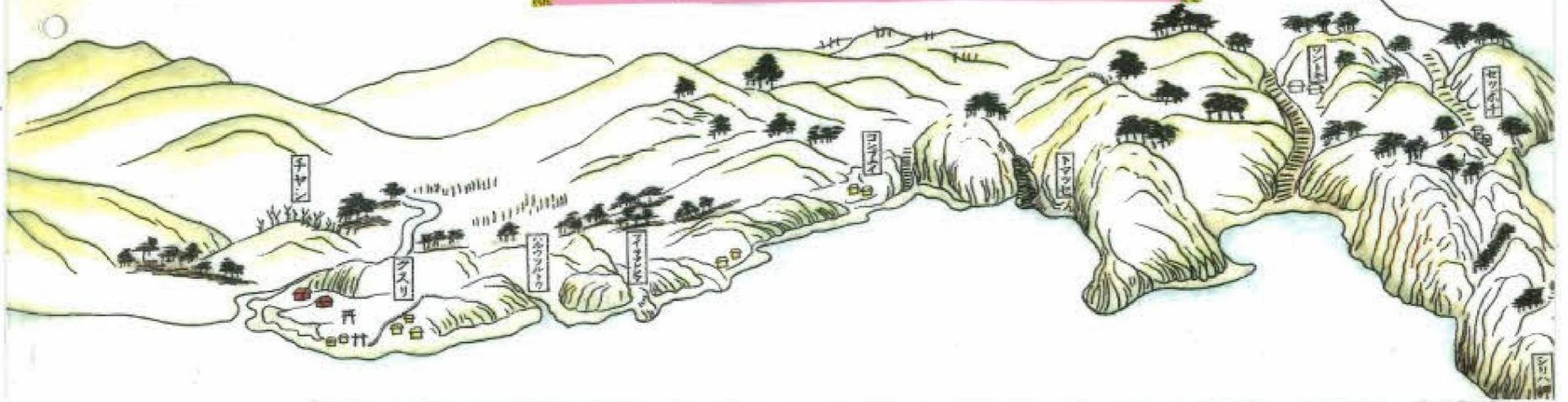


釧路 飛行空時

五年二組 青戸愛唯



釧路について研究しようと思ったきっかけ

授業で釧路のことを学び、家族や知人から昔の釧路の様子を聞き自分の暮らしている釧路について、もっと知りたいと思ったからです。

研究の内容

釧路の昔と今を比べて、どのように変化しているのかを知ってこれからどのように進化していくのかを想像したいと思います。

研究の方法や調べ方

- ・ ホームページを調べたり、釧路の情報が載っている図書を読む！
- ・ 昔の釧路を知っている人に話を聴きたい！

現在の釧路ができるまで

○今の釧路ができるまでに、色々な歴史がある。戦争で多くの人々が亡くなったことは悲しい歴史である。

1600年頃 松前藩により久寿里(クジュリ)が置かれる。

1800年
(寛政12) 伊能忠敬が測量を行う。

1856年
(安政3) 松浦武四郎が二度目の来釧。
「武四郎廻浦日記」に旅行記を著す。

1869年
(明治2) 釧路国釧路郡の名称が定められる。
秋田や青森、函館、鳥取、愛知などから
人が移り住んだ。
大雨・洪水による水害や冷害で
苦勞が多かった。

1900年
(明治33) 人口が約1万人になった。

1901年
(明治34) 鉄道ができた。(釧路↔白糠)

1909年
(明治42) 電灯・電話が繋がった。
釧路港を大きくする工事が始まる。

1941年
(昭和16) 第二次世界大戦が始まる。

1945年
(昭和20) 7月14日に5回、15日に3回の空襲があり、
けが人約300人。死んだ人約200人。約1600戸が
被害にあった。

1949年
(昭和24) 釧路市と鳥取町が合併し、人口約8万74人

1952年
(昭和27) 3月4日 十勝沖地震が起こる。

1959年
(昭和34) 愛国浄水場が完成。

1979年
(昭和54) 水あげ量日本一になる。(1991年まで13年続く)

1988年
(昭和63) 釧路湿原が国立公園となる。

1989年
(平成1) M00、雀鳥見橋が完成する。

1993年
(平成5) 1月5日 釧路沖地震が起こる。

2008年
(平成20) 湿原の風アリーナができる。私も生まれる。

『釧路』が開拓された過去へGO!

13世紀ごろ

先住民のアイヌの方々が
樺太から蝦夷地に移住
(北海道)

朝風に白帆をひらひら
まきあげて
西に東に舟の行く見ゆ



松浦武四郎

ロシアが
日本を脅かしていると聞き
領土を取られないように
人が暮らせる場所を
開拓していったんだ!

150年ほど前「^{ほかいどう}北加伊道」と名付けたんだ。
自然が豊かでとても素晴らしいから
「くすり日記」という本にその様子を表したよ。

1869(明治2)年

『北海道』と改称され
開拓が始まる

アイヌ語のクシリ から
(藁・温泉の意)

『釧路』と呼ばれる
ようになった

- ∞ 和人が移り住むようになり
アイヌの人たちの生活があらた
- ∞ {シャクシャインの戦い}
- ∞ シャクシャイン(アイヌの首長)を
だまそうちにした和人が勝ち
- ∞ アイヌの人たちはアイヌ語を
使うことを禁じられたり、住居を
移された、労働を強いられた。

人口調べ(開拓使出張所記録)

年	北海道	釧路管内
明治2年	58467 (12,017)	50 (10)
明治3年	66,618 (13,182)	510 (255)
明治10年	191,172 (38,149)	992 (397)

*()は戸数



食べ物は...

米、味噌、正油、塩、
酢、塩鮭、フキ、大根、
鹿肉、羊、たう、いたけ
からび、アヲラコ、ヒラメ
などを貯蔵して
食べていた

もっと昔は、どうだったの？

参照元

kai-hokkaido.com

8000万年前



2000万年前

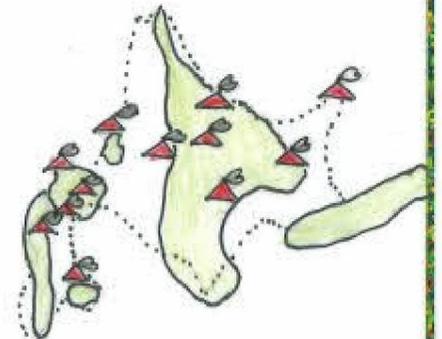
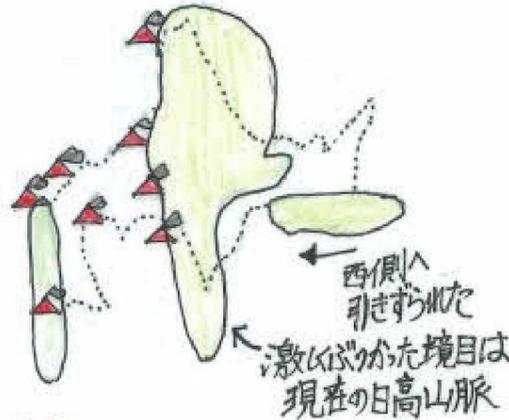


300万年前



アンモナイトが泳ぐ海

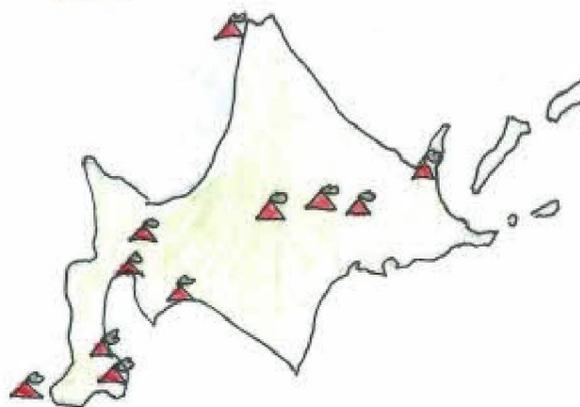
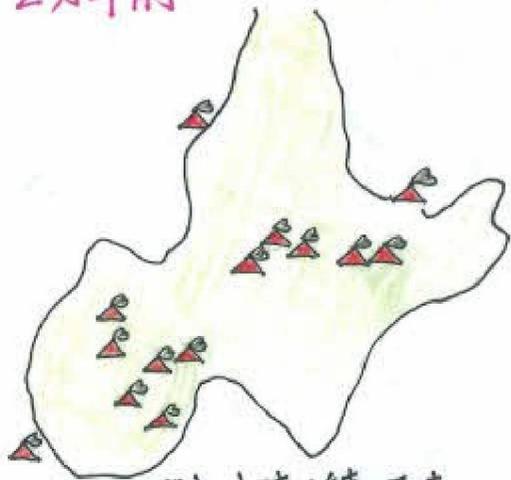
プレートの動きによって大陸の形が変わっていく。



2万年前



現在



8000万年前は、恐竜が地球を支配していた！
北海道は、少しずつ移動し今の形になった。
高く険しい山々、北海道でしか見られない植物や動物。
豊富な地下資源や、様々な文化は島のなりたちとルーツがある。

アイヌ民族と和人～私が感じた人々の気持ち

北海道は元々、アイヌの方々が『アイヌモシリ』(人間の大地)と呼ばれ、大切に守ってきた場所です。
『北海道』と名付けられた150年前、1万6,000人以上のアイヌ民族が暮らしていたそうです。
屯田兵等の開拓民が入植し、人々の暮らしが大きく変化しました。
ここでは、アイヌ民族と和人、それぞれの気持ちを考えてみたいと思います。

アイヌの方々の気持ち

- ・争いをしないで、平和に暮らしたい
- ・辛いけど、和人とはわかり合えないかもしれない
- ・ばかにされたり、差別をされる
- ・アイヌであることを、かくして暮らすしかない

和人・開拓民の気持ち

- ・住む所や食べる物が欲しい
- ・戻る場所はないから、争っても良い暮らしをしたい
- ・今までこんなに寒い所で、初めての開拓!
何をどのようにすれば良いか、わからない

明治32年「北海道旧土人保護法」が施行され、アイヌの伝統文化がうばわれたり、差別を受けました。
この法律が廃止されたのは平成9年5月8日。98年位の間、苦しんできたことを知りました。
和人も開拓の苦労があったと思いますが、仲良く生きる方法はなかったのかなと思います。
アイヌ民族の歴史や文化、言葉等についても調べてみたいです。
過去は変えることができないけれど、これから先、みんなが幸せに暮らしていける世界になると良いなと思います。

ユカラ講談づくりに挑戦

東京の一龍齋さん 阿寒湖コタン関係者と

【阿寒湖温泉】女性講談師の一龍齋弥生さん(東京都)が、阿寒湖アイヌコタンの関係者らと共同でアイヌ民族に伝わるユカラ(英雄叙事詩)をテーマにした講談づくりに挑む。一龍齋さんは「なまじっかな気持ちではできないが、講談でアイヌ文化を伝えていきたい」と意気込んでいる。(光嶋るい)



以前上演されたユカラを題材にした演劇で使われた刀を見ながら、西田さん(中央)と秋辺さん(右)から話を聞く一龍齋弥生さん

「アイヌ文化伝えたい」 全国で披露を目指す

東京を拠点に活動する一龍齋弥生さんは10年ほど前、当時は日本経済計算だった阿寒湖観光協会まちづくり推進機構の山下世一事務理事と仕事を通じて知り合った。山下さんは日本航空退社後、同機構で阿寒湖観光に関わるようになり、「多くの人にアイヌ文化を知ってもらいたい」との思いで、創作講談を持ち掛けたところ、「一龍齋さんも興味を示した。全国各地での披露を目指す

た。一龍齋さんは山口、朝阳市の阿寒湖温泉ホテルの客室に合わせ、阿寒湖アイヌ文化研究会の西田正直代表理事、西田家の秋辺デボさんを訪問した。「一龍齋さんが」といってユカラは講談に向いている」と地元のイベントで話していた。西田さんは「ぜひ、秋辺さん(中央)と秋辺さん(右)から話を聞く一龍齋弥生さん(左)らと話し合っている。

アイヌ遺骨1体返還

和解後初 札幌大、浦幌協会に

札幌医大が保管していたアイヌ民族の遺骨1体が9日、浦幌が出土した遺骨は「これまで(返還の)希望がなかった」として、申し渡された。同協会と遺骨を出土した土地の権利をめぐり、返還を求める訴訟が札幌地裁に起こっていたが、6月に和解が成立した。同大からの裁判による遺骨の返還は初めて。

同日、協会の代表4人が札幌医大に出向き、同大の遺骨返還後、取材に応じた協会の代表(左から)は、遺骨は、町立博物館から返還する別の1体とあわせて、17日に町内の墓地に埋葬される。(光嶋るい)



遺骨返還後、取材に応じた協会の代表(左から)は、遺骨は、町立博物館から返還する別の1体とあわせて、17日に町内の墓地に埋葬される。(光嶋るい)

夏休み
Special
企画

Youは何しに釧路へ?

Why did you come to Kushiro?

in たんちょう
釧路空港

8月8日、特別に許可を頂き、釧路空港でアンケートをしました。
釧路の様子に関する質問で、24名の方が回答して下さいました。



案内やサポートを
して下さいました
空港ビルの
木村マネージャー、

アンケートに協力して下さいました方々、
ありがとうございました!

祖母と
母が
付きそっ
ていきました



アンケート調査のまとめ

Q1. お住まいはどこですか?

東京	埼玉	釧路	神奈川	福岡	香取	札幌
9人	4人	4人	3人	2人	2人	1人

東京行きの出発時間が近かったので
関東の方が多かったです。

「ツアー旅行で来ました」という
ご夫婦が多かったです。

夏休みなので帰省の送迎という
ご家族の姿も見られました。

Q2. 年齢はおいくつですか?



この時は70代の方が一番
多かったです。

同じ小学生位の子にも
アンケートをしてみたかったです。

性別は男性11人、女性13人が
回答して下さいました。

Q3. 旅行のきっかけは何ですか?

- 1位 観光名所 (9票)
- 2位 景色 (7票)
- 3位 仕事 (3票)
- 4位 アクティビティ (2票)
- 温泉 (2票) 涼しさ (2票)

観光が目的の方が多かったです。
カヌーを楽しみに来た方や
涼しくゴルフをしたいと言った方も
いらっしゃいました。

「食べ物」は一票で残念に思いました。

いち押し 収蔵品

返還要求運動 原点の証し

北方領土返還要求運動の原点の地と評される旭川市。その証しが市内の道庁北方四国交流センターにある。「現在、道庁の5階層に、北海道付属島嶼復帰懇請陳情書（旭川市立北方）の複製が展示されている。この複製は、昭和20年12月1日、旭川市で開かれた「北海道付属島嶼復帰懇請陳情書」の複製である。この複製は、旭川市立北方の歴史資料館に展示されている。この複製は、旭川市立北方の歴史資料館に展示されている。



△山岡謙二の陳情書の複製。当時の根拠の思いが伝わってくる。高田屋兵衛の北前船の複製は精巧な作りだ。（いずれも茂忠信撮影）



△高田屋兵衛の北前船の複製。当時の根拠の思いが伝わってくる。高田屋兵衛の北前船の複製は精巧な作りだ。（いずれも茂忠信撮影）

旭川市長が連合国軍総司令部（GHQ）のメッサーサー最高司令官宛てに書いた「北海道付属島嶼復帰懇請陳情書」。田ノ邊正木は、この複製を、返還要求運動の原点の地と評される旭川市に展示された。この複製は、旭川市立北方の歴史資料館に展示されている。この複製は、旭川市立北方の歴史資料館に展示されている。

アザラシ間近 観光船で 別海 16日まで特別運航

【別海】野付湾のコマシアザラシを眺めたい。別海町観光船の「アザラシウォッチング」が人気を集めている。満員で体を休め、リラックスした様子でアザラシを眺める観光客は、別海町の観光客を呼び寄せている。

4日からは野付半島ネイチャーパークと別海町観光船が主催の「野付アザラシクルーズ」が野付半島体験ツアーがあり、この日は別海町観光船が特別運航して、アザラシ



1時間半かけて、アザラシがよみ休んでいる。観光船は、野付湾のアザラシウォッチングを満員で実施している。参加者は双眼鏡で詳しく観察したり、写真に収めたりしている。ガイドの川口真樹は、アザラシの生態について詳しく説明している。

別海町観光船は、野付半島体験ツアーとして、アザラシウォッチングを実施している。この日は、別海町観光船が特別運航して、アザラシ

アザラシウォッチングの料金は、大人1,500円、小学生半額。未就学児が無料。問い合わせは別海町観光船0153-33-0606。9月15日が同日9時30分、16日10時30分。料金はそれぞれ1,500円、小学生半額、未就学児が無料。（旭川市立北方）

アンケート調査のまとめ

Q4. 今回の旅行はどこへ行きましたか? 印象に残った場所を教えてください。
釧路にお住まいの方は、オススメの観光スポットを教えてください。



- 第1位 釧路湿原 (8票) ... 釧路在住の方から細岡の景色がオススメという声がありました。
第2位 摩周湖 (7票) ... 世界で2位、日本では1番透明度の高い摩周湖がラッキーでした。
第3位 釧路川でカヌー (5票) ... 全長およそ154km。カヌーからの景色は最高という声が聞かれました。

この他に、多かった順にご紹介すると知床、阿寒湖が4票、ぬさまい橋、米町公園、鶴、ゴルフ、旭山動物園、厚岸のカキが2票ずつ。食べ物では大花亭や和商市場も人気でした。
根室に行かれた方で「花咲線に乗た。のさぷ岬。北方領土について考えさせられた」というコメントがありました。

Q5. 釧路の人や街の印象など、ご意見を聞かせて下さい。

- 第1位 親切な人が多い (4票)
第2位 地元の人に会いたかった (3票)
第3位 ゆったりしていて住みやすそう (2票)

ツアーで来られた方は、知床や阿寒まで泊まり、釧路は通っただけと言う方が多かったです。
「もう地元の人とお話したかったの。ありがとう。」と言ってくださる方もいて、うれしかったです。

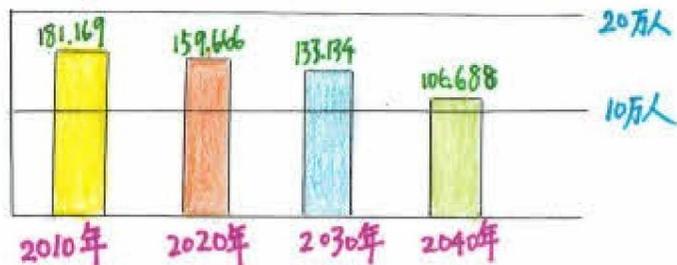
バスの本数が多いと嬉しいと言う家族連れの方や、道が広くて気持ちいい! というコメントがありました。
「日本一の涼さをPRしたいと思う」「お洒落な街! 花時計の下のコマ草が素敵。手入れをしていた方、これからよろしく!」というメッセージもありました。
出張で来られた方も「今度はプライベートで来たい」とのことです。
観光の方が増えると良いなと思いました。





人口の減少が止まらない

釧路市の将来人口の推移



※ 釧路市役所ホームページより

左の図のように人口の減少が予想されている。広大な自然や豊かな資源により、1980年(昭和55)には22万7234人という時代もあった。他の街への転出や高齢化・出産率の低下が原因で人口が減少している。

私の考える未来の釧路

皆が釧路を好きになる & 好きになってもらう取り組み

大きなプールや遊園地、ごうかなホテルや温泉を増やす!

市民もうれしい、旅行者や移住する人が増える ↗

釧路のオンラインショップを広げる!

おいしいグルメや、釧路ぞしか手に入らない商品を発明する!

作る仕事と売る仕事が増えて、人口が増える ↗



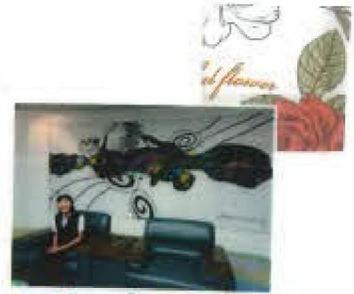
この自由研究をふりかえって

「50年前はここに列車が走っていたんだよ」などと家族から昔の話を聞くことはありましたが、100年前、200年前…と調べていくうちに、北海道が今の形になっていない頃のことを知ることができました。北海道の開拓には、アイヌ民族との深く、悲しい関係があることを知り、アイヌ文化がとだえずに、続いていくと良いなと感じました。

また、昔の釧路を知る人にお話を聞くことが出来なかったのが、機会を見つけて聞いてみたいです。空港でのインタビューは、とても緊張しましたが、空港ビルの木村さんや、空港に居た方がとても親切に優しく接してくれて、楽しい自由研究になりました。

「良い研究になるといいね」「がんばってね」とたくさん応援の声をもらい、うれしかったです。釧路の街が、これから栄えて、住む人や観光客でにぎやかな街であって欲しいと思いました。

協力して下さいた皆様、本当にありがとうございました。



＜釧路空港のVIP室にて＞



アンケートに協力して頂いた方に、折り紙で作った鶴ののりをプレゼントしました。



とてもうれしい言葉をたくさんもらったので最後までがんばりました。



参考にした本やWEBサイト



図書

- ・ 小学校社会科郷土読本「くしろ」
釧路市教育委員会発行
- ・ 釧路郷土史考
釧路市発行
- ・ 市政施行70周年記念 目と見る釧路の歴史
釧路市発行
- ・ 釧路街並み今・昔
[文]永田 秀郎 / [編]北海道新聞社



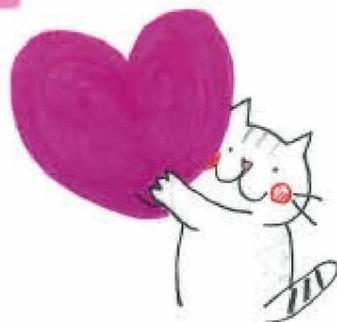
WEBサイト

- ・ 北海道マガジ「カイ」 kai-hokkaido.com
- ・ 釧路・阿寒湖観光公式サイト
ja.kushiro-lakeakan.com
- ・ 釧路市役所 city.kushiro.lg.jp

お世話になった方・場所

- ・ 釧路空港ビル株式会社
総務部 マネージャー
木村 孝徳様
- ・ コアかがやき
図書室

最後まで読んで下さり
ありがとうございました



七里
至クスリ
シラヌカ

四里十三丁
至シラヌカ
シヤクベツ

